

【国家基本政策委員会】

(1) 審議概観

国会審議の活性化及び政治主導の政策決定システムの確立に関する法律に基づき、党首討論を実施するため、国家基本政策委員会が第147回国会から衆参両院に設置された。

第147回国会において、本委員会は、国家の基本政策に関する調査について、衆議院国家基本政策委員会と合同審査会を6回開き、小渕内閣総理大臣、森内閣総理大臣と討議を行った。

〔国政調査等〕

国家基本政策委員会両院合同幹事は、平成12年2月16日に「国家基本政策委員会合同審査会の運営についての申合せ」を決定した。本申合せは15項目から成り、合同審査会の開会について「衆議院及び参議院の国家基本政策委員会は合同審査会を開き、内閣総理大臣と野党党首との直接対面方式での討議を行う」、開会日時について「合同審査会は、会期中、週1回40分間、水曜日午後3時から開会する。ただし、総理が、衆議院又は参議院の本会議、予算委員会若しくは重要広範議案審査の委員会に出席する週には、開会しない」、会長について「合同審査会の会長は、衆議院の国家基本政策委員長と参議院の国家基本政策委員長が交互に務めるものとする。毎会期、初回の会長は、衆議院の委員長とする」などをその内容としている。

2月23日の合同審査会（第1回）では、総理秘書官のNTTドコモ未上場株取得問題、国債残高の状況、財政再建に向けた青写真、定数削減法案審議における与党の対応等について討議が行われた。

3月8日の合同審査会（第2回）では、警察不祥事問題、国家公安委員長の責任、景気の動向、日米安保条約における核持込みの取扱い等について討議が行われた。

3月22日の合同審査会（第3回）では、年金法改正案についての総理の説明責任、党首討論の在り方、台湾における政権交代の影響、経済運営についての見通しと責任、核持込みに関する秘密協定、公的資金を受けた銀行による政治献金の在り方等について討議が行われた。

3月29日の合同審査会（第4回）では、官僚不祥事等への対応策、普天間基地問題、財政再建への取組み、核一時持込みに関する米国外交文書への対応、自民党の政治献金に対する姿勢等について討議が行われた。

4月19日の合同審査会（第5回）では、4月5日の森内閣発足により初めて森内閣総理大臣が出席し、有珠山噴火の被災者救済対策、前総理の病状が悪化した際の政府の対応、ストーカー防止法制定の必要性、「事前協議」に関する秘密協定文書についての政府調査結果、総選挙後における増税の有無、年金積立金取崩しによる国民負担の抑制、戦後システムの見直しの必要性等について討議が行われた。

5月10日の合同審査会（第6回）では、経済・財政政策に係る自民党政権の責任、少年凶悪犯罪の発生など社会モラルが破たんした原因、最近における国民不安増大の背景、社会保障に係る国庫負担引上げの必要性、総理のG8各国訪問について国会報告を行わない

理由、沖縄米軍基地に関する米大統領との協議の必要性等について討議が行われた。

なお、会期中、両院合同幹事会において、党首討論の時間数及び開会の在り方について議論が行われたが、与野党間で意見の一致を見るに至らなかった。

(2) 委員会経過

○平成12年1月21日（金）（第1回）

- 理事を選任した。
- 国家の基本政策に関する調査を行うことを決定した。

○平成12年2月18日（金）（第2回）

- 国家の基本政策に関する調査について合同審査会を開会することを決定した。
-

○平成12年2月23日（水）（国家基本政策委員会合同審査会第1回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、不破哲三君及び土井たか子君が小渕内閣総理大臣と討議を行った。

○平成12年3月8日（水）（国家基本政策委員会合同審査会第2回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、不破哲三君及び土井たか子君が小渕内閣総理大臣と討議を行った。

○平成12年3月22日（水）（国家基本政策委員会合同審査会第3回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、不破哲三君及び土井たか子君が小渕内閣総理大臣と討議を行った。

○平成12年3月29日（水）（国家基本政策委員会合同審査会第4回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、不破哲三君及び土井たか子君が小渕内閣総理大臣と討議を行った。
-

○平成12年3月29日（水）（第3回）

- 理事の補欠選任を行った。
-

○平成12年4月19日（水）（国家基本政策委員会合同審査会第5回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、不破哲三君、土井たか子君及び小沢一郎君が森内閣総理大臣と討議を行った。

○平成12年5月10日（水）（国家基本政策委員会合同審査会第6回）

- 国家の基本政策に関する件について鳩山由紀夫君、不破哲三君及び土井たか子君が森内閣総理大臣と討議を行った。